

松尾 法道 (まつお ほうどう)

長崎市

● 活動期間 / 47年間



21世紀仏教フォーラムでの松尾氏

活動のプロフィール

東明山興福寺第32代住職。

40年前から「興福寺紫陽花まつり」や「興福寺文化祭・茶市」など様々な催事を開催し、黄檗宗祖隠元禅師を紹介する取り組みを行っている。

煎茶や普茶料理などの食文化の普及活動を通じ、黄檗文化の継承に尽力しているほか、中国との交流を続け、地域の活性化や国際交流に多大な貢献をしている。



日中シンポジウム(手前から2人目が松尾氏)



茶市の様子

【活動への思いや今後の抱負】

日本文化に多大な影響をあたえた隠元禅師の偉業を顕彰するために、さらに様々な催事を企画し、多くの方に禅師の精神を知っていただきたい。そして禅師の故郷中国の福建省と長崎との友好の輪をさらに広げるために努力をしたい。禅師の伝えた卓袱台はひとつの皿を皆で分け合っていたくという食のかたちで、これこそ「皆で仲良く」という隠元禅の心髄であり、今こそ必要であると思うからです。